

2013 年度ホームステイ受け入れ体験記(1)

ホームステイファミリーを務めて

都市工学科 教員 高科 豊

2013 年度も引き続き JENESYS プログラム（JICE、一般財団法人日本国際協力センター）の ASEAN 加盟国、豪州、NZ、インド、東ティモール混成招聘プログラム参加学生のホームステイファミリーを引き受けました。

また神戸 YMCA 国際・奉仕センター、北カルフォルニア日本文化コミュニティセンター JCCNC 第 2 回 TAKAHASHI YOUTH AMBASSADOR FELLOWSHIP PROGRAM の留学生のホームステイファミリーも引き受けました。

北カルフォルニアから 1 名、インドネシアから 2 名が、昨年に続き、我が家に来て、一緒に、たこ焼きパーティー、ホームカラオケ大会、有馬温泉、U S J 等、楽しい休日や日常生活を無事に過ごすことができました。

長女も妻も私も、英語に振り回され、大変な『おもてなし』の連続でした。しかし、外務省等から選抜されて日本に来る学生は、本当に『さわやかな風』を我が家に吹き込んでくれます。

長女もこの夏を通して、英語への取り組みがかなり変わったように思います。海外の人は、日本人の人に比べて、おおらかなところが私は大好きです。

また東京オリンピックの開催地選考プレゼンで、注目された『おもてなし』の日本人の心は、世界にも通ずる大切なことと私は感じました。

世界中の沢山のひと々と笑顔のふれあいを持つことは、最高の贅沢だと思います。近年、研究においても、少しずつ国際発表で海外に行くこともできるようになりました。プライベートでも、海外にお知り合いができるようになりました。色々な人と交流ができる場を与えて頂いたことにとても感謝しています。

もし、神戸だけでなく、世界のひとと もっと身近にふれあいが持てれば本当に幸せなことだと思います。夢を夢のままにしない努力を、少しずつ、家族とともに頑張りたいと思います。今回のホームステイファミリー活動に協力頂いた方々に感謝します。本当に有り難うございました。

